

【一般質問】

○岩村誠議員

1 外郭団体との連携について

(1) 該当する外郭団体

ア およそどのくらいあるのか

答弁

宇部・山陽小野田防災協会と宇部・山陽小野田防火委員会の二つの団体で、防災協会には約550の事業所が入会、防火委員会には27クラブ、2,248人。

イ 団体の活動内容

答弁

防災協会は危険物取扱者試験の準備講習会、事業所対抗の消防競技大会など、防火委員会は防火イベントの開催、防火看板の作成などの防火広報。

(2) 平素の連携状況

(3) 成果

(4) 今後の取組

答弁

防災協会が主催する講習会の講師や、消防競技大会の運営に消防職員が協力、消防組合が主催するイベントに防火普及活動用の防火グッズの提供。防火委員会においては、火災予防運動中に大規模小売店で園児とともに防火広報、山陽小野田市では全クラブが参加する体験型の幼年消防クラブ交流会の実施。少年消防クラブは宇部まつりや出初式でクラブ員とともに防火広報活動を実施。引き続き外郭団体と連携して、地域住民や各事業所における防火思想の普及啓発に取り組む。

2 林野火災に対する防火・消火体制について

(1) 宇部・山陽小野田消防局管内で発生した主な林野火災について

答弁

消防広域化を行った平成24年から令和元年まで管内で発生した林野火災は17件。主な火災は平成26年4月に建物火災が山林に延焼し建物9棟全焼1棟部分焼、付近の山林6,100平方メートルを焼損。

(2) 現状

答弁

防災協会と協力し登山道や不特定の人が進入する箇所に山火事防止の看板設置。少年消防クラブが林野火災防止用標識を取付け。消防署においては霜降山の通路の木や枝を伐採し、消防車両の通行帯を確保。また、山口県消防防災航空隊と山林における要救助者の正確な位置情報をGPSで確認するなどの訓練を実施。

(3) 今後の取組

答弁

これまでの取組を継続するとともに迅速な情報収集のためにドローンの導入を検討している。

○水津治議員

1 消防用ホースについて

(1) 40 mmを用いている理由を聞く。

答弁

65 mmホースと 40 mmホースを配備し、災害の状況に応じた使用方法として、40 mmホースを主力としているのは、軽量であって隊員の疲労軽減が図られ、安全性が向上すること。また、機動性が高く屋内の進入が容易である。

(2) 他市の 40 mmの利用状況を聞く。

答弁

山口県内には 40 mmホースを主力としている消防本部はない。

(3) 50 mm等と比較検討しているか。

答弁

消防広域化の前は、宇部市は 40 mmホース、山陽小野田市では 50 mmホースを主力としていた。平成 25 年 4 月に比較検討した結果、機動力のある 40 mmホースを主力とした。

2 配備車両について

(1) 更新及び増車計画を聞く。

答弁

国の消防力の整備指針に基づき、適切に車両を配備している。車両更新計画については、日本消防検定協会が定めた消防用車両の安全基準で定める使用期限を参考に管内の状況に合わせて車両の種別ごとに更新年数を定めている。

(2) 配備後の運用に定めがあるのか。

答弁

車両等の配備は、当該消防署の属する市が負担することから、配備後に市を超えて配備することはできない。消防広域化を図った関係で必要に応じ市を越えて出動はしている。

3 職員採用について

(1) 応募と採用状況を聞く。

答弁

令和元年度は申込数 78 人、受験者 58 人、13 人を採用予定。平成 30 年度は申込数 81 人、受験者 53 人、採用者 12 人。平成 29 年度は申込数 72 人、受験者 60 人、採用者 10 人である。

(2) 募集方法を聞く。

答弁

消防局ホームページ、構成市広報誌への掲載、庁舎内での掲示。管内の高等学校、専門学校、大学等を始め、県内外の学校にも受験内容を送付。平成28年度から採用ガイダンスを実施し40人程度の参加者。警察や自衛隊と合同で説明会を実施。

4 消防署間の人事異動について

答弁

それぞれの管内で道路状況、消防水利状況などの地域の特性があるため、各地域の実情を熟知した職員を残し人事異動をしている。自己申告制度や人事評価制度を活用、署所間のジョブローテーションを行い、組織強化と人材育成を図っている。

【議案審議】

○議案第1号 令和2年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計予算

【概要】 歳入歳出それぞれ予算総額を33億5,386万1,000円とするもの
令和元年度比較2億4,652万5,000円の増額

【事業計画】

歳出は、常備消防費及び消防施設費を合わせて32億445万6,000円等、総額33億5,386万1,000円を計上。この財源として、分担金及び負担金28億2,078万6,000円のほか、使用料及び手数料を充当。なお、本市の負担金は、経常的経費及び投資的経費を合わせて9億2,885万2,000円。

【主な質疑と答弁】

質疑 職場の環境改善を強く要望され自死された職員の願いをかなえるための予算は。

答弁 職場環境改善支援業務委託料、メンタルヘルスサポート事業委託料ほか、合計で606万円を計上している。

討論なし 採決結果～全員賛成で可決

○議案第2号 令和元年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計補正予算（第3回）

【概要】 歳入歳出それぞれ2,817万8,000円を減額
歳入歳出それぞれ予算総額を30億8,080万3,000円とするもの

【主な質疑と答弁】

質疑 電算開発委託料100万円の減額の理由は。

答弁 人事給与システムの改修に充てる予定であったが、改修の必要がなくなったため。

討論なし 採決結果～全員賛成で可決

- 議案第 3 号 宇部・山陽小野田消防組合消防職員定数条例中一部改正
- 【概要】 災害が発生した場合の消防力が十分に確保できるように、消防職員を現在の定数 298 人から 315 人に増員するもの
- 【主な質疑と答弁】
- 質疑 17 人増やされる理由は。
- 答弁 内部のワーキンググループで検討した結果 12 人の増員が必要で、それに山口県消防学校、山口県の消防航空隊などに出向している職員 5 人を加算し合計で 17 人となる。
- 討論なし 採決結果～全員賛成で可決
- 議案第 4 号 宇部・山陽小野田消防組合議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例中一部改正
- 【概要】 地方公務員法及び地方自治体法が一部改正されたことに伴い改正するもの
- 質疑・討論なし 採決結果～全員賛成で可決
- 議案第 5 号 宇部・山陽小野田消防組合職員の給与に関する条例中一部改正
- 【概要】 各職位及び権限をより明確にして、事務遂行の責任体制の確立及び事務の組織的かつ能率的な処理を図るため
- 質疑・討論なし 採決結果～全員賛成で可決
- 議案第 6 号 山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更
- 【概要】 公平委員会事務を共同処理する団体に、山陽小野田市が加入し、また、会計年度任用職員制度の開始により規約を変更する。
- 質疑・討論なし 採決結果～全員賛成で可決
- 報告第 1 号 専決処分を報告し、承認を求める件
- 【概要】 宇部・山陽小野田消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（令和元年条例第 11 号）消防組合職員の給与は宇部市の制度に倣っており、宇部市において条例改正が行われたため
- 討論なし 採決結果～全員賛成で可決
- 報告第 2 号 専決処分を報告し、承認を求める件
- 【概要】 令和元年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計補正予算（第 2 回）歳入歳出総額にそれぞれ 1,063 万 3,000 円を増額するもの
- 討論なし 採決結果～全員賛成で可決